日揮健康保険組合

健保だより

平成26年10月 第99号

組合ホームページ
アドレス：www.jgckenpo.or.jp
ユーザー名：jgckenpo（ジェージーシーケンポ）
パスワード：kumiaihp（クミアイエイチピー）

平成25年度決算報告 健康保険の経常収支は6年連続の赤字

健康保険

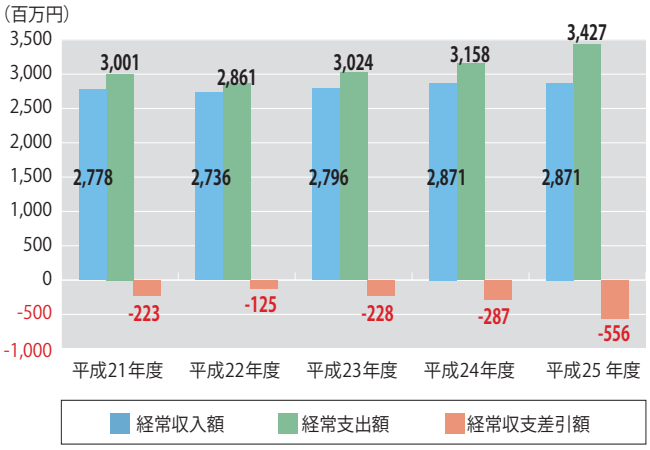
経常収支において、平成20年度から６年連続となる赤字決算（**図１参照**）となり、別途積立金から5.2億円を繰り入れました。

赤字幅は、保険料収入が見込みを上回ったことなどから、見込額6.75億円（経常収支ベース）が5.56億円に留まりました。

本来であれば、保険料率を２％程度引き上げ、収支をバランスさせるところですが、赤字分を別途積立金（今までの剰余金）で補填し、保険料率を据え置いています。

支出は34.88億円（**図２参照**）となりました。年々増加している保険給付費21.43億円（５年間で3.57億円増加）、高齢者医療制度支援のための納付金10.20億円の合計31.63億円は、健康保険収入28.27億円を大きく上回りました。（**表１参照**）

図１ 経常収支額の推移



介護保険

介護準備金からの繰入金18百万円を含めた収入合計は前年度と比較して15.6百万円増の3.04億円、支出合計は前年度と比較して15.4百万円増の3.03億円となり、収支は711千円の黒字となりました。（**表２参照**）

表１ 平成25年度決算概要表（健康保険勘定）

収入		支出	
科目	決算額（千円）	科目	決算額（千円）
健康保険収入	2,827,115	保険給付費	2,143,256
別途積立金繰入	520,000	納付金	1,020,091
調整保険料収入	62,568	保健事業費	178,384
財政調整事業交付金	53,112	事務費	80,706
雑収入・その他	43,756	財政調整事業拠出金	60,769
		その他	5,097
収入合計	3,506,551	支出合計	3,488,303
経常収入	2,870,871	経常支出	3,427,492
収入支出差引額	18,248	経常収支差引額	▲556,621

図２ 総支出の推移

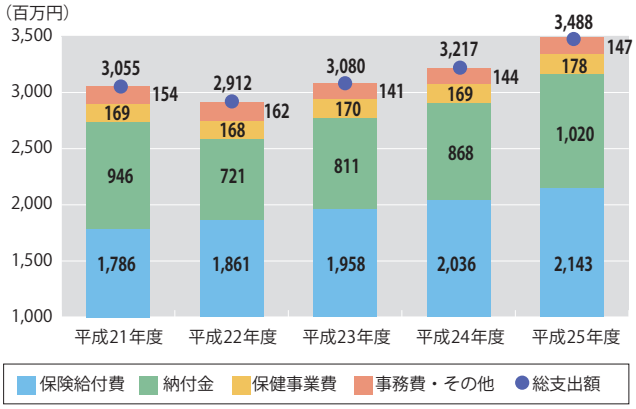


表２ 平成25年度決算概要表（介護保険勘定）

収入		支出	
科目	決算額（千円）	科目	決算額（千円）
介護保険収入	285,804	介護納付金	302,898
繰入金	18,000	介護保険料還付金	218
雑収入	23		
収入合計	303,827	支出合計	303,116
		収入支出差引額	711

決算関連資料

保険給付費、薬剤費、疾病予防費を紹介します

【保険給付費　図３参照】

この５年間で3.5億円、20％増加しています。

一人当たりの給付費は、５年前に比べて、一般加入員は11.3万円から13.0万円、特退加入員は31.1万円から35.9万円とそれぞれ15％増加しています。

※特退加入員とは：定年などで退職したとき、当組合の加入期間が20年以上など、一定の条件を満たすと、特例退職被保険者となることができます。その被扶養者（家族）は特例退職被扶養者となり、両者を特退加入員といいます。特退加入員は、一般加入員と同様の保険給付が受けられ、保健事業も利用できます。

【薬剤費　図４参照】

この5年間で、272百万円から329百万円（21％）に増加しました。内訳としては、一般加入員は209百万円から257百万円（23％）に増加、特退加入員は63百万円から72百万円（14％）に増加しました。本人・家族とも増加傾向にあります。

※組合ホームページにはジェネリック医薬品に関する専用ページを設置しています。「ジェネリック医薬品お願いカード」も印刷できますので、ぜひご活用願います。

【疾病予防費　図５参照】

疾病予防費は毎年度、ほぼ一定の水準を支出しています。厳しい財政状況下にはありますが、疾病予防事業、特に健診事業に重点を置くことで、加入員の健康管理および保険給付費増加の抑制につなげています。

※特定健診で特定保健指導の対象者になった場合は、その趣旨をご理解いただき、積極的に受けていただくようご協力をお願いします。

図３　保険給付費の推移

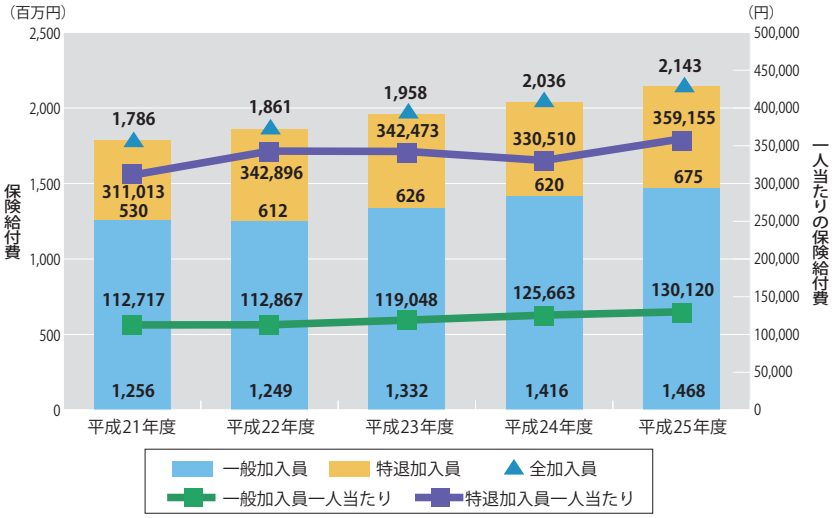


図４　薬剤費の推移

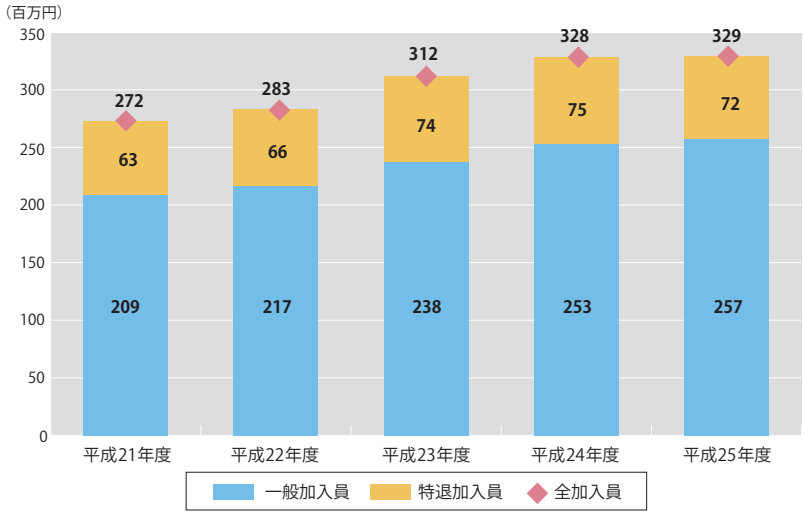
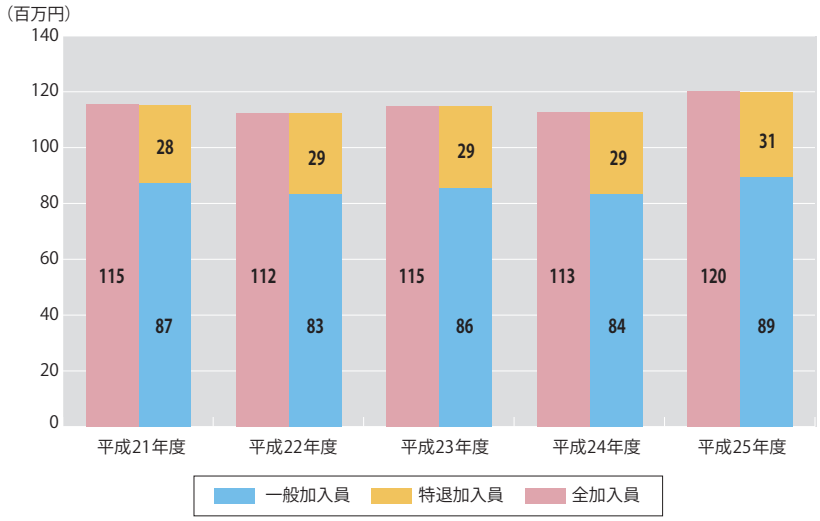


図５　疾病予防費の推移

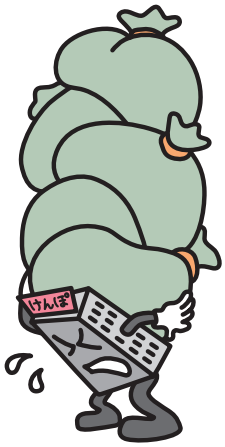


健保組合を取り巻く世間の動き　健康保険組合連合会資料より

高齢者医療制度施行後、健康保険組合の財政は悪化し、回復の兆しは見えてきません。

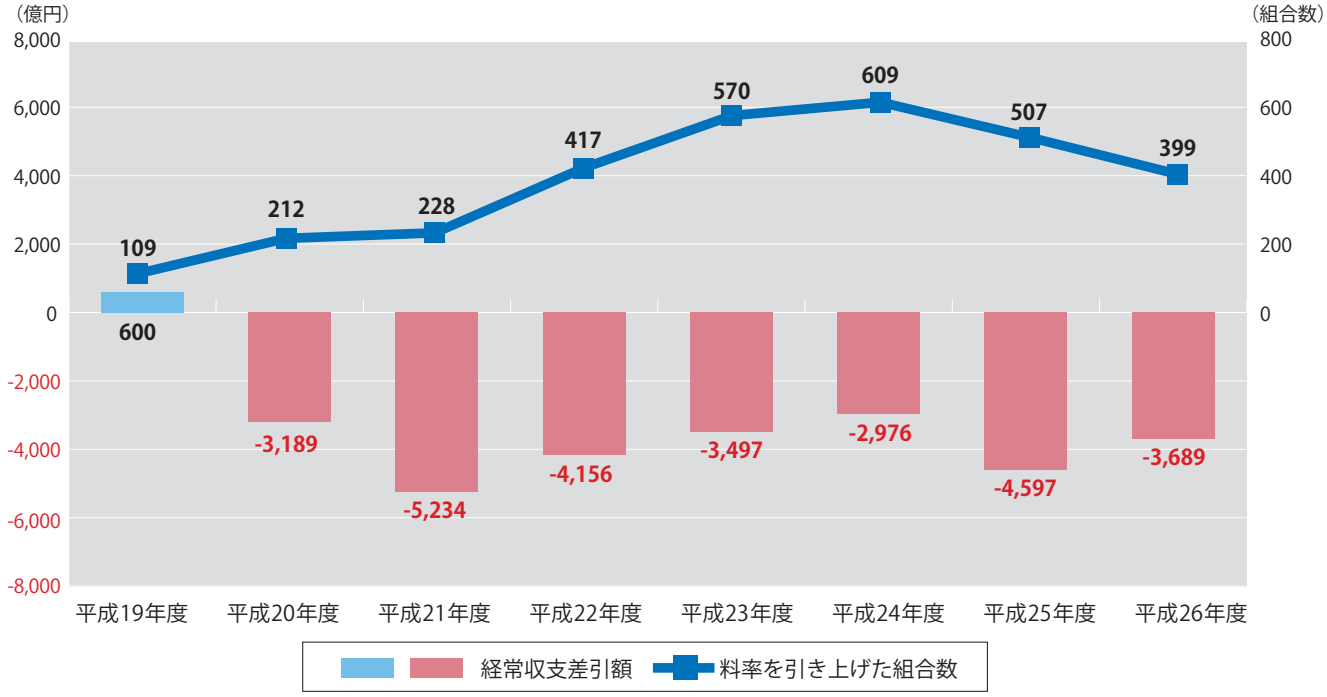
財政悪化の最大の要因は、現役世代に偏った高齢者医療への過大な拠出金負担です。特に平成27年度以降、団塊世代全員が前期高齢者（65歳以上75歳未満の高齢者）へ移行することによる支援金･納付金の増加は確実で、健康保険組合はさらに厳しい財政運営を強いられる状況にあります。

全国1,410健康保険組合の平成26年度予算の早期集計では3,689億円の経常赤字となり、高齢者医療制度創設以降7年続けて3,000億円を超える大幅な経常赤字となりました。7年間の累積赤字は2兆7,300億円にも及んでいます。赤字組合は1,114組合（全組合の8割超）となり、保険料率を引き上げた組合は399組合（全組合の3割）で、料率を引き上げた399組合のうち、155組合（約4割）が2年連続で料率を引き上げており、連続して料率を引き上げざるを得ない組合の厳しい財政状況が浮き彫りとなりました。



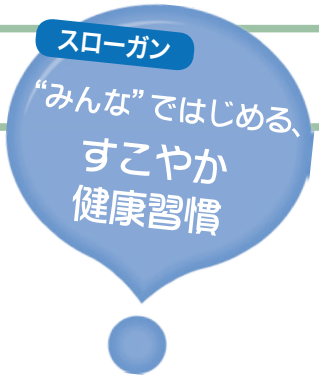
平成25年度予算値と比べ赤字額は908億円減少しましたが、これは賞与の上昇や保険料率の引き上げによる保険料収入の増加によるものです。3割以上の組合が保険料率を引き上げたにもかかわらず、支援金・納付金の保険料収入に対する割合が45.4％になるなど、支援金・納付金が組合財政を圧迫している状況に変わりはありません。**（図7参照）**

図 7　経常収支差引額と保険料率引き上げ組合数の推移



（健康保険組合連合会／平成26年度予算早期集計）

健康強調月間のお知らせ



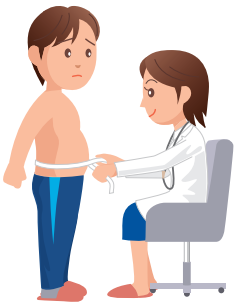
毎年10月は健康保険組合連合会が定めた「健康強調月間－生活習慣病予防普及月間－」です。

本月間では、健保組合が効率的・効果的な保健事業の実施を図り、加入者の健康意識を高めることで、事業主を含む加入者が「“みんな”で一緒に健康になる」ことを目標に、スローガンを掲げました。

疾病予防事業のご紹介

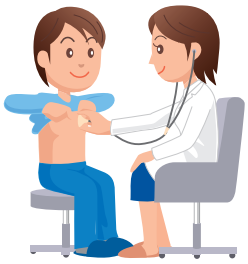
組合員の疾病予防と健康維持のため、次のとおり各種健診等を実施しています。
詳しくは組合ホームページをご覧ください。

●特定健康診査



❶対象者：40歳以上75歳未満の組合員
❷実施時期：4月から翌年2月
❸利用者負担：人間ドック、婦人健診費用に含む
❹実施内容：メタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）に着目し、生活習慣病予防のための保健指導を必要とする人を選び出すための健診で人間ドック・婦人健診に、この特定健診項目を包含して実施する。

●特定保健指導



❶対象者：40歳以上75歳未満の組合員
❷実施時期：通年
❸利用者負担：なし
❹実施内容：特定健診の結果からメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）のリスク要因数により「動機付け支援レベル」「積極的支援レベル」に階層化された方を対象に特定保健指導を実施する。

●人間ドック

❶対象者：35歳以上被保険者、40歳以上被扶養者
❷実施時期：4月から翌年2月
❸利用者負担：日帰り12,000円、1泊12,000円＋別途料金
❹実施内容：健康管理・保持および健康状態の把握ならびにメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と改善を目的とする。

●婦人健診

❶対象者：女性被保険者、25歳以上女性被扶養者
❷実施時期：4月から翌年2月
❸利用者負担：5,000円
❹実施内容：健康管理・保持および健康状態の把握ならびにメタボリックシンドローム（内臓脂肪症候群）の予防と改善を目的とする。

●脳ドック

❶対象者：35歳以上被保険者、40歳以上被扶養者
❷実施時期：4月から翌年2月
❸利用者負担：健診機関／健診コースにより異なる
❹実施内容：脳疾病の早期発見と早期治療を目的とする。人間ドックとのセット受診と単独受診の2種類がある。

●PET検診

❶対象者：35歳以上被保険者、40歳以上被扶養者
❷実施時期：4月から翌年2月
❸組合補助：70,000円
❹実施内容：がんの早期発見を目的に、利用料金に対して組合が補助を行う。

●肺がん検診

❶**対象者**：組合員
❷**実施時期**：9月
❸**利用者負担**：800円
❹**実施内容**：肺がんの早期発見を目的に、胸のレントゲン検査と喀たんの細胞診検査を実施する。

●歯科健診

❶**対象者**：事業所所属の被保険者
❷**実施時期**：地区・事業所ごとに随時実施
❸**利用者負担**：なし
❹**実施内容**：むし歯や歯周病の早期発見を目的とする。

●（無料歯科健診）

❶**対象者**：組合員（主に事業所で実施する歯科健診を受診できない組合員が対象）
❷**実施時期**：通年
❸**利用者負担**：なし
❹**実施内容**：むし歯や歯周病の早期発見を目的に、㈱歯科健診センターの協力を得て、同社が提携する歯科医院による歯科健診を実施する。

●ココロの相談ダイヤル

❶**対象者**：組合員
❷**実施時期**：通年
❸**利用者負担**：なし
❹**実施内容**：こころに悩みを抱える人を対象に、メンタルヘルスのカウンセリングセンターと契約し、臨床心理士の資格を持つカウンセラーとの1対1の電話および面談によるカウンセリングを実施する。

これから実施する疾病予防事業

●胃・大腸健診

❶**対象者**：健診日現在、被保険者の方（ただし、人間ドック受診者・任継者・特退者は除く）
❷**実施時期**：事業所ごとに設定します。
❸**利用者負担**：なし
❹**検査の目的**：胃・大腸疾患（がんを含む）の早期発見のための健診です。
❺**検査方法**：胃部のレントゲン検査と検便
※胃がんは罹患率が高く、大腸がんは罹患率が増加しているため、ぜひとも受診してください。

●インフルエンザ予防接種補助

（10月1日から申請受付を開始します。詳しくは組合ホームページをご覧ください）

❶**対象者等**：接種日現在、組合員である方。
❷**補助受付期間**：原則として10月1日から来年1月末日までに接種した場合とします。
❸**補助回数**：補助受付期間において組合員1人につき、１回の補助をします。
❹**補助金額**：組合員1人につき2,000円を上限に補助します。接種料金が2,000円未満の場合は、税込みの実費を補助します。
❺**自治体の助成制度の併用**：65歳以上を対象とした高齢者助成制度（法定制度）を利用して予防接種を受けた場合は、組合員1人につき1,000円を上限に補助します。ただし、医療機関の窓口で支払う個人負担額が発生しない場合、組合からの補助はありません。
❻**申請期間**：10月1日から来年2月末日（申請書の組合必着）までとします。
❼**申請方法**：組合所定の申請書に必要事項を記入し、医療機関の領収書を添付して申請してください。医療機関が発行するレシートは原則不可とします。領収書には、**①医療機関名　②接種日　③接種を受けた人の氏名　④予防接種の名称　⑤接種料金**の記載が必要です。申請は、世帯ごとに1枚の申請書に纏めて申請してください。
❽**支給方法**：現金給付と同様に取り扱います。

接骨院・整骨院の利用上の注意　負傷原因を正しく伝えていますか？

療養費支給申請書の署名は記載内容をチェックしてから

療養費支給申請書の負傷原因、負傷名、日数、金額などが事実と相違ないかを必ず確認してから、署名・捺印をお願いします。

受診者が署名・捺印することは、健康保険組合からの療養費の受け取りを施術師に委任することになります。このため、内容をよく確認しない場合には療養費の不正申請につながるためです。

健康保険が使えない場合があるのは、なぜ？

病院や診療所では、皆様のケガや病気に対して、医師が診療や血液検査、レントゲンやＭＲＩ検査などによって原因を見極めたうえで治療を行います。

一方、整骨院・接骨院で施術をする柔道整復師は医師ではありませんので、血液検査、レントゲンやＭＲＩ検査、手術、注射、薬の処方などを行うことができません。そのため、整骨院・接骨院で病院と同じように保険証を使えるのは、負傷原因のはっきりした、急性または亜急性の外傷性による骨折・脱臼・打撲・ねんざ（肉離れを含む）と決められています。（骨折・脱臼は、応急手当を除き、あらかじめ医師の同意が必要となっています。）

●健康保険が使用できない例

⇒ 単なる（疲労性・慢性的な要因からくる）肩こりや筋肉疲労

⇒ 脳疾患後遺症などの慢性病や症状の改善のみられない長期の施術

⇒ 病院、診療所などで同じ負傷等を治療中のもの

⇒ 労災保険が適用となる仕事中や通勤途上での負傷

領収書がもらえますので、大切に保管しましょう

領収書は柔道整復師に発行が義務付けられているため無料で発行してもらうことができます。医療費控除の対象となるため、大切に保管するようにしましょう。ただし、単なる肩こり、疲れを癒したり、体調を整えるといった施術は医療費控除の対象には含まれません。

組合会議員総選挙結果のお知らせ

平成26年5月23日に任期満了に伴う議員総選挙を実施し、下記20名の議員（選定議員10名・互選議員10名）が選任・選出されました。また、同時に8名の理事と2名の監事が選出され、新理事の中から理事長が選出されました。任期は、平成26年5月24日から平成29年5月23日までの3年間です。なお、5月23日で退任されました前議員の方々につきましては、任期中のご尽力に対し本紙面をお借りしてお礼を申し上げます。

選定議員			互選議員		
役　職	氏　名	所属事業所	役　職	氏　名	所属事業所
理事長	野原　延孝	日揮㈱	理　事	小柳　昌春	日揮㈱
常務理事	高橋　茂	日揮健康保険組合	理　事	渡邉　豊	日本エヌ・ユー・エス㈱
理　事	板倉　岳史	日揮情報システム㈱	理　事	飯村　武雄	日揮プラントイノベーション㈱
理　事	釘宮　裕之	日揮触媒化成㈱	理　事	加藤　元彦	特例退職被保険者
監　事	和泉　智彦	日揮プラントイノベーション㈱	監　事	内藤　英男	日揮㈱
議　員	稲田　二郎	日揮㈱	議　員	小嶋　威	日揮㈱
議　員	薄井　猛也	日揮ユニバーサル㈱	議　員	藏本　民	日揮㈱
議　員	坂　和弘	日本ファインセラミックス㈱	議　員	山縣　英司	日揮情報システム㈱
議　員	池上　美雪	日揮ビジネスサービス㈱	議　員	小林　數馬	日揮触媒化成㈱
議　員	角井賢太郎	日揮プラントイノベーション㈱	議　員	小林　鋼太	日揮プラントイノベーション㈱

発行／日揮健康保険組合
〒141-0031　東京都品川区西五反田２－29－５　日幸五反田ビル３階
☎ 03（5437）6540　特退窓口 03（5437）7844　FAX 03（5437）6543